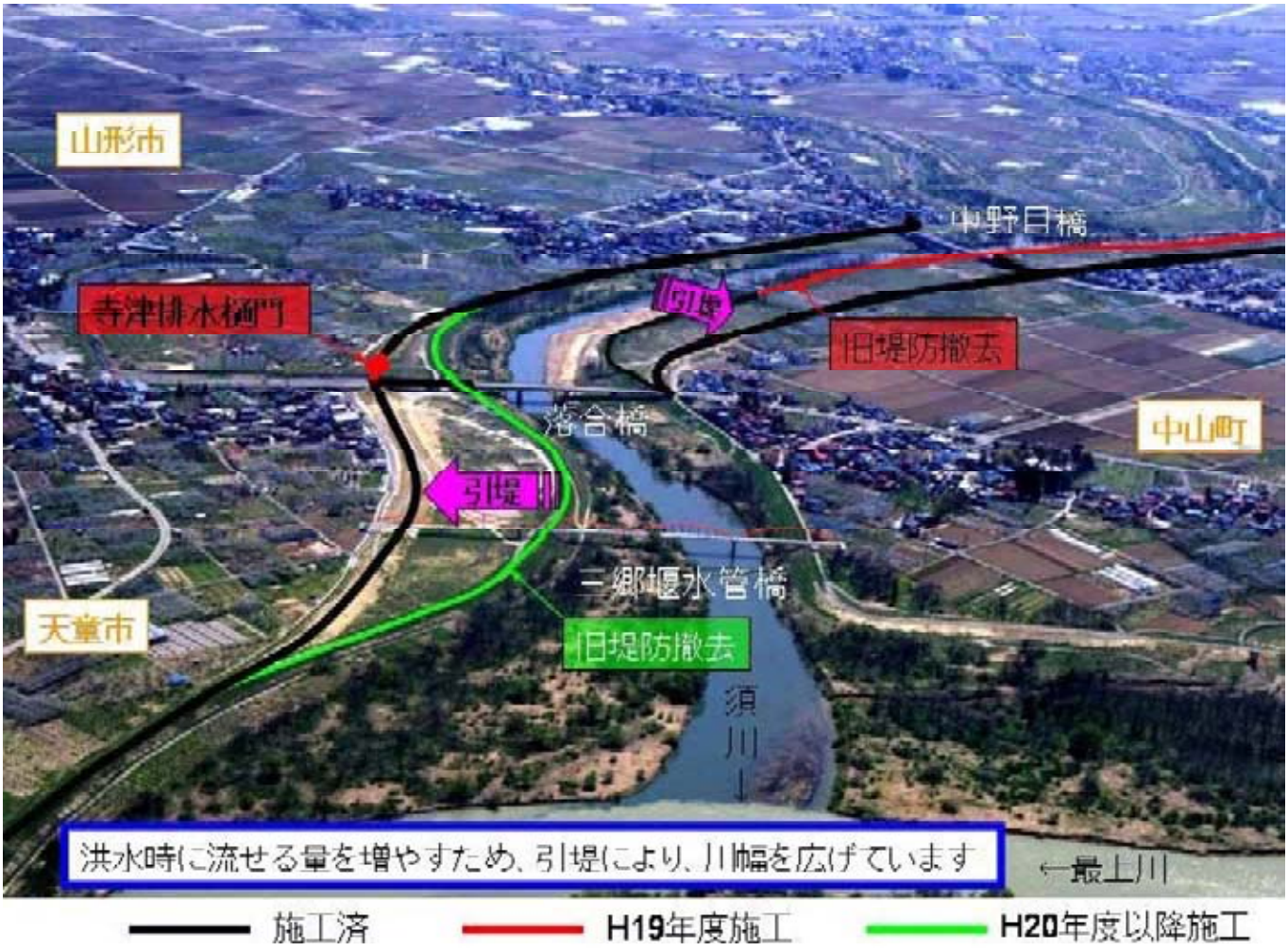
（4）主要事業（河川事業）

１）須川引堤事業

支川須川は、県都山形市を流域にもち、沿川の都市化の進展が著しい状況にあるにもかかわらず依然として治水安全度が低い状況にあります。

山形県による上流部の河川整備とのバランスに配慮しながら、下流部においては河積拡大のための河川改修（引堤）に平成11年度より着手し、鋭意事業を進めてきております。引堤事業により、川幅が広がり、洪水時に従来より多くの流量を流すことが出来るようになります。



写真：最上川合流点より上流を望む





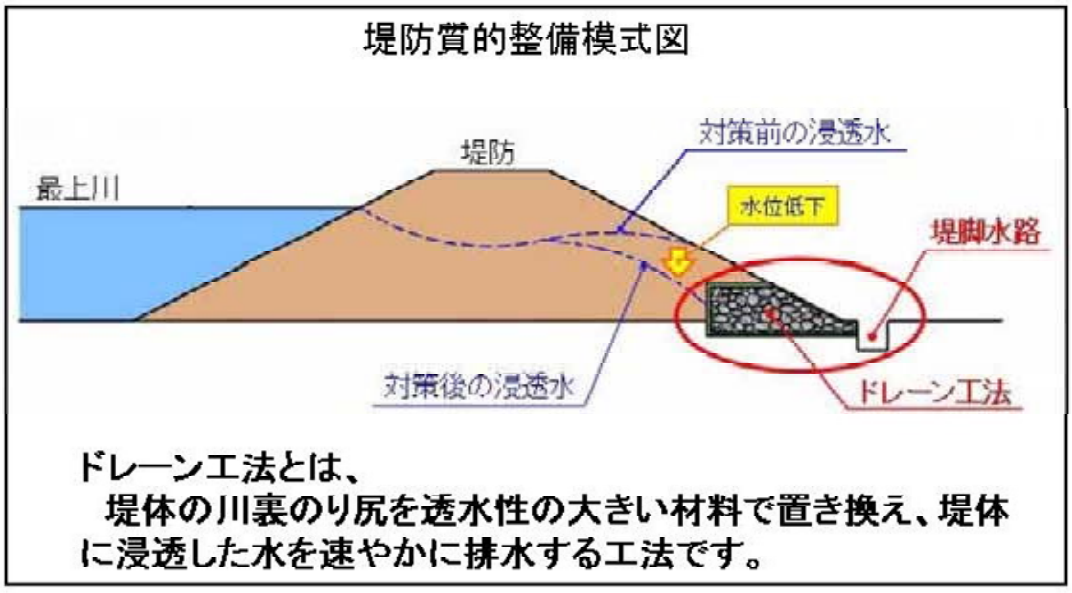
２）長崎堤防質的整備

河川堤防の浸透に関する安全性について調査を行っている「堤防詳細点検」結果において、「計画の洪水が発生した場合、浸透に対する堤防の安全性が確保されていない状況」と診断された、中山町長崎の最上川右岸堤防において、ドレーン工法による堤防の質的強化を実施します。

当該堤防は「破堤氾濫した場合に甚大な被害が予想される区間」である「特定の区間」に指定されており、治水上特に重要な堤防と位置付けられています。

本整備の実施により、洪水時の堤防の安全性を高めることが出来ます。

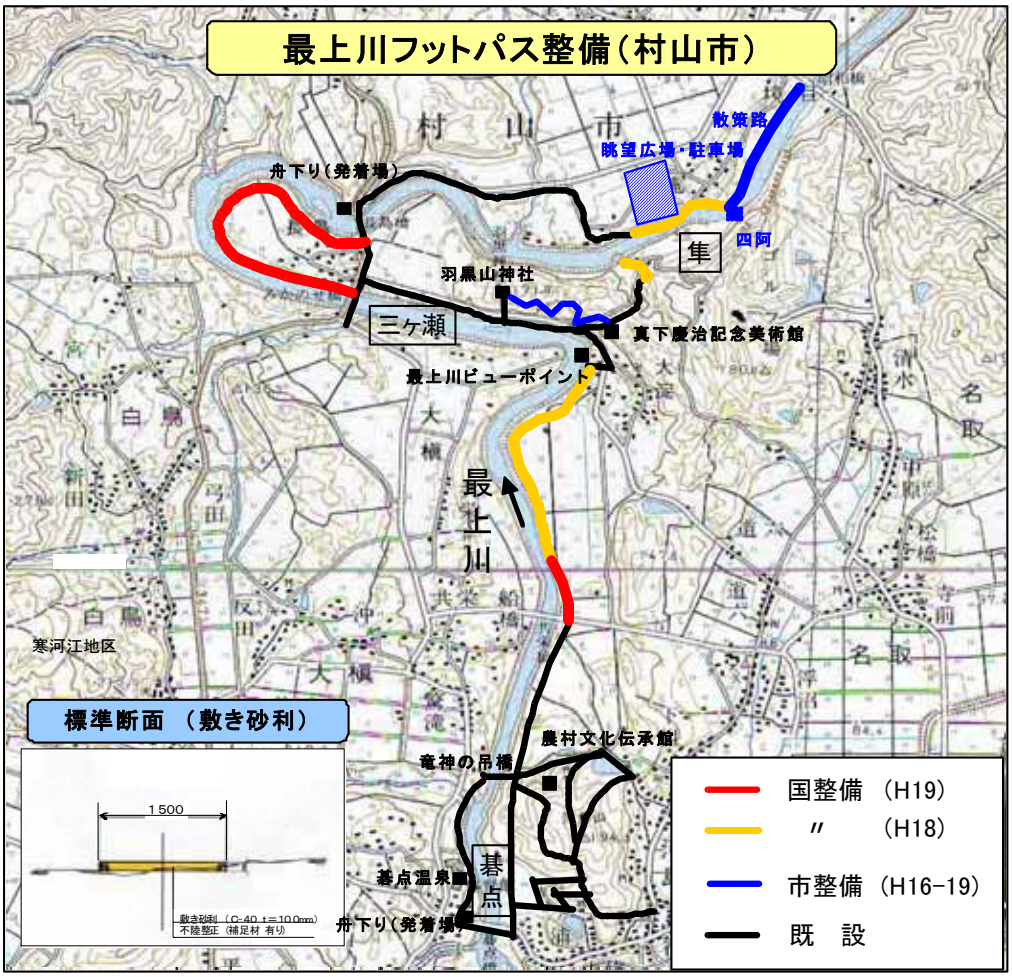




3）最上川フットパス

最上川の魅力的な場所と、沿川の観光資源を「フットパス（歩くことを楽しむための小径（こみち））」でつなぐことによって、観光利用を促進し、地域活性化を支援します。

今年度は、「長井市・寒河江市・大江町・白鷹町」に引き続き、村山市において、散策路や案内板等を整備し供用を開始します。



〈最上川三難所（碁点・三ヶ瀬・隼）舟運文化と歴史をめぐるフットパスルート を整備（村山市）〉

■H18年度における村山フットパスの整備状況

・散策路



＜大淀地区＞

・階　段

